

湯梨浜町立湯梨浜中学校における部活動の 地域展開・地域連携に向けた推進計画

子どもたちの持続可能なスポーツ・文化芸術活動環境の構築に
向けて

湯梨浜町教育委員会



なぜ、今「部活動改革」が必要なのか？

(文部科学省、スポーツ庁、文化庁の主張)

これまでの部活動



中学校教職員の努力により、長年にわたり、生徒の成長や学校の一体感の醸成に貢献してきました。

現在直面している危機



教員の負担：
勤務時間を大幅に超える長時間労働の削減



少子化：
単独でチームが組めない・活動が縮小している

子どもたちの活動の機会が
継続できません。

めざす姿：地域全体で子どもたちを育てる



学校中心



学校教育関係者と地域の関係者が連携し、
生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を
「持続可能なもの」にする。

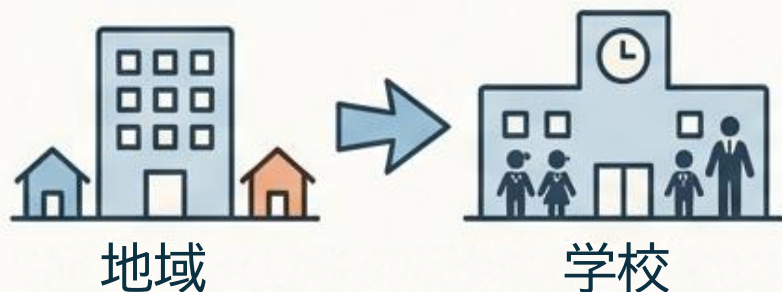


共同と発展

「地域連携」と「地域展開」の違いとは？

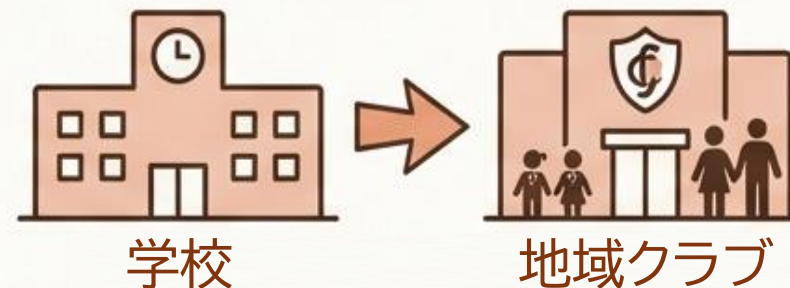
湯梨浜町では、この2つの手法を組み合わせ進めます

地域連携



外部の地域指導者が学校に来て、部活動を支援する。

地域展開



学校の管理を離れ、地域クラブが運営主体となる。

できるところから順次移行

まずは「地域連携」からスタートし、可能な部分から「地域展開」へ進みます。

湯梨浜町の基本方針（地域連携・地域展開）

● 休日における「地域連携」と「地域展開」の推進

- すべての部活動において部活動指導員や外部指導者を配置する「地域連携」を実現をめざす
- 受け皿となる地域のクラブ体制が整った部活動から、順次「地域展開」の実施をめざす

● 平日における活動の取扱い

- 平日の活動は当面の間、教員・部活動指導員・外部指導者の指導の下、「学校部活動」の形態を維持
- 平日（学校）と休日（地域）で指導の一貫性や生徒の安全が確保できるよう、課題の洗い出しと解決策の検討を進める

湯梨浜町がめざす「地域クラブ活動」の姿

目的：競技性や成果のみに偏重せず、生涯にわたってスポーツ・文化芸術を楽しみ、親しむ子どもを育てる。

参加形態：学校部活動と同様、生徒の「自主的・自発的な参加」による活動（強制ではありません）。



持続可能性

学校と地域が連携し、無理なく続けられる運営。



教育的意義

学校部活動が担ってきた人間形成の場を継承。

安心・安全の証「湯梨浜町認定制度」

町教育委員会が、以下の基準を満たすクラブを公認します

✓ 教育的配慮があること

✓ 適切な活動時間・休養日

✓ 安価な参加費
(低廉な費用)



✓ 安全管理体制の確保

✓ 学校との連携

✓ 適切な運営組織

認定地域クラブへの公的支援とメリット



情報の周知

教育委員会による生徒・保護者への情報提供



施設の優先利用

学校施設(体育館・グラウンド等)の優先利用及び使用料の減免



人材の確保

希望する教師等の兼職兼業の認可による指導者の確保



大会参加

大会・コンクールへの円滑な参加支援

認定を受けない団体に対しても、活動時間や安全管理（ハラスメント防止等）において、認定要件に準じた対応を要請します。

子どもたちを守る安全管理体制



暴力・暴言・ハラスメント
を許しません

保険の加入



生徒・指導者ともに
保険加入を徹底

緊急対応



マニュアル作成と
責任の明確化

相談窓口





困った時の
相談先を設置

安全はすべての活動の前提です。

費用について（参加費の考え方）



 **基本原則**：地域クラブは受益者負担（参加費）となります。

 **公的支援**：町が施設の減免や運営支援を行い、家庭の負担を抑えます。

公的支援の詳細については、今後検討していきます。

適切な活動時間と休養日の設定



休養日の設定



- 週2日以上の休養日を設定（平日・休日含む）。
- 長期休業中は「オフシーズン」を設定。

※学校部活動と地域クラブの両方に参加する場合も、通算でこの基準を適用します。

地域全体で「チーム湯梨浜」へ



子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の未来を守るために。
学校、家庭、そして地域のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

湯梨浜町教育委員会